









取扱要領		回 議 書			開示請求状況
決裁印 	保存年限 5	第1ガイド 11水道 26.12.25	第2ガイド 04計画 26.12.25	簿冊・フォルダー 水道計画策定事業	
	浄書	審査 26.12.25	公印 	発送	
決裁区分 課長	収受日 平成 年 月 日	平成 年 月 日	起案者 所 属 生活衛生課 衛生・水道担当 職氏名 副主幹 阿久津 元士 		
	処理期限 平成 年 月 日	平成 年 月 日			
	起案日 平成26年12月17日	平成26年12月17日			
標 題 栃木県水道ビジョン策定における意見聴取有識者の委嘱について					
課  主幹兼課長補佐 (総括)  主 幹 (衛生・水道担当)  <div style="text-align: right; margin-top: 100px;">   </div>					
現在策定中の栃木県水道ビジョンについては、その作成において有識者からの意見を聴くものとしております。 つきましては、国立大学法人宇都宮大学大学院 池田裕一 教授に意見聴取有識者として委嘱することとしてよろしいか。 決裁のうえは、案1により同大学院 工学研修科長宛て及び案2に池田教授宛て依頼してよろしいか。 (57)					

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

生衛第633号

平成26年12月25日

国立大学法人宇都宮大学大学院

工学研究科長 石井 清 様

栃木県知事 福田 富 一

栃木県水道ビジョン策定における意見聴取有識者の委嘱について（依頼）

本県水道行政の推進につきましては日頃より、御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県では、将来の本県水道の指針となる栃木県水道ビジョンの策定を進めており、その策定においては、有識者から御意見をお聴きすることとしております。

つきましては、意見聴取有識者として貴大学院の 池田裕一教授 に下記により委嘱させていただきますようお願いいたします。

記

1 委嘱する業務内容

別添「栃木県水道ビジョンにおける学識経験者による確認点整理」のとおり

2 委嘱期間

平成26年12月25日～平成27年3月10日

3 意見照会回数

2回（案及び最終稿）

4 謝 金

栃木県保健福祉部生活衛生課講師謝礼支払基準事務処理要領を準用した次の額
（所得税の源泉徴収分を含む）

金120,000円（県内大学教授@20,000円×3時間×2回）

栃木県保健福祉部
生活衛生課衛生・水道担当
（担当：谷田部・阿久津）

Tel 028-623-3106

Fax 028-623-3106

本館5階北西側

一
田
裕
様

生衛第 633 号

平成 26 年 12 月 25 日

国立大学法人宇都宮大学大学院

教授 池田裕一様

栃木県保健福祉部生活衛生課

課長 田辺悦夫

栃木県水道ビジョン策定における意見聴取有識者の委嘱について（依頼）

本県水道行政の推進につきましては日頃より、御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県では、将来の本県水道の指針となる栃木県水道ビジョンの策定を進めており、その策定においては、有識者からの御意見をお聴きすることとしております。

つきましては、別添写しのとおり依頼しましたので、下記により御意見をお聴かせいただけますようお願いいたします。

記

1 委嘱業務の内容

別添「栃木県水道ビジョンにおける学識経験者による確認点整理」のとおり

2 委嘱期間

平成 26 年 12 月 25 日～平成 27 年 3 月 10 日

3 意見照会回数

2 回（案及び最終稿）

4 謝金

栃木県保健福祉部生活衛生課講師謝礼支払基準事務処理要領を準用した次の額
（所得税の源泉徴収分を含む）

金 120,000 円（県内大学教授 @ 20,000 円 × 3 時間 × 2 回）

栃木県保健福祉部
生活衛生課衛生・水道担当
（担当：谷田部・阿久津）
Tel 028-623-3106
Fax 028-623-3106
本館 5 階北西側

0. 現在及び将来の水道事業の環境

- ・課題整理等の前提として整理した、本県の水道事業が置かれている現在及び将来の事業環境について、人口構造の変化や施設の更新需要等の観点から概観

1. 水道サービスの持続性の確保（水道事業の運営基盤の強化）

1-1 施設整備及び技術基盤の強化

- ・主に施設整備及び技術基盤の強化の視点から見た水道事業の運営基盤の強化のあり方
 - 人口減少や節水による給水量の減少及びこれに伴う料金収入の減少
 - 水道事業の広域化の取り組み
 - 水道事業者と民間企業による官民連携の取り組み
 - 施設の老朽化に伴う更新需要の増加
 - 職員数（特に技術職員）の減少、技術力の低下 等

1-2 特に経営面から見た持続可能な事業運営のあり方

- 地方公営企業会計制度の見直しへの対応
- 施設の老朽化に伴う更新需要への対応
- 適正な水道料金のあり方 等

2. 安全な水の確保

- 有害物質、有害生物対策のあり方
- 水道未普及地域への対応
- 水質検査精度管理の徹底
- 水道水源保全の取り組み
- 飲用井戸等の管理強化 等

3. 危機管理の徹底

3-1 東日本大震災を踏まえた震災対応

- ・東日本大震災による被害・復旧等を踏まえての大規模自然災害に対する今後の取り組み
 - 耐震化の推進など事前の備え
 - 災害発生時の応急給水・復旧等の対応
 - 広域的応援体制の強化 等

3-2 その他の危機管理

- ・渇水、風水害等の自然災害、水質汚染事故、エネルギー（電力）逼迫への対応
 - 風水害、渇水、水質汚染事故、テロ、エネルギー（電力）逼迫時の危機管理
 - 水道水、浄水発生土の放射性物質対策 等

4. 国・県・水道事業者等の役割分担と連携

- ・国、県、水道事業者等、専用水道の設置者等、民間企業（整備、維持管理等）及び住民との役割分担と連携のあり方

栃木県水道ビジョン有識者候補リスト

No.	氏名	所属・職名	専門	備考
1	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
2	池田 裕一	宇都宮大学大学院 工学研究科 教授	河川工学 応用生態工学 環境情報工学	H25・26栃木県公共事業評価委員 H26栃木県企業局経営評価委員会委員
3	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
4	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
5	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
6	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

宇都宮大学 池田教授を水道ビジョンの有識者とする理由

水道事業は、水道サービスの持続性の確保、安全な水の供給、災害に強い施設整備等が求められている公共事業であり、県が策定する水道ビジョンにはその将来像を明確にする必要がある。更には、地方公営企業として、水道料金収入による健全な経営が求められている。

宇都宮大学 池田教授は、平成 25 年度から県公共事業評価委員会委員を委嘱されており、公共事業のあり方について造詣が深く、また、平成 26 年度には県企業局経営評価委員会の委員も務められており、公営企業の経営に関しても精通しているため適任者と考え、水道ビジョン策定に関する有識者とするものである。

宇都宮大学 池田裕一教授 略歴

昭和 59 年 3 月	東京大学工学部卒業
昭和 61 年 4 月	東京大学工学部 文部技官
昭和 63 年 4 月	宇都宮大学工学部助手
平成 8 年 2 月	宇都宮大学工学部助教授
平成 25～26 年	県公共事業評価委員会委員
平成 26 年 4 月	宇都宮大学工学部教授
平成 26 年	県企業局経営評価委員会委員